

令和4年3月「AT限定免許の在り方に関する調査研究」（概要）

調査検討委員会の構成・開催結果

【委員長】 ○ 榎 徹雄 東京都市大学理工学部教授

【委員】 ○ 上原 厚美 自動車安全運転センター安全運転中央研修所研修部実技教官
○ 中井 宏 大阪大学大学院人間科学研究科准教授
○ 田中 俊一 足立自動車学校管理者
○ 平井 克昌 一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会教習教育部長

【オブザーバー】 全日本トラック協会、日本バス協会、国土交通省、警視庁

【開催結果】

第1回

令和3年9月21日

習熟走行・
走行実験

令和3年10月1日
～11月26日

第2回

令和4年1月24日

第3回
(とりまとめ)

令和4年2月28日

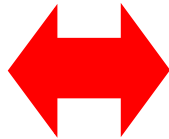
走行実験内容

MT普通自動車とMT大型自動車でクラッチ・ギア操作に差があるかどうかを確認

<調査方法>

実験群15名

MT普通免許等保有者
にAT大型自動車で
30時限の習熟走行



対照群15名

現行のMT大型教習の
卒業検定合格者

実験群と対照群で
同程度にMT大型自動車を運転可能か
MT大型自動車により走行実験

<走行実験結果>

【クラッチ・ギア操作に起因する減点(エンスト等)の比較】

	クラッチ操作関係	ギア操作関係
実験群	15人中2人	15人中1人
対照群	15人中2人	15人中2人

大型車はAT車しか
運転していない実験群
も、クラッチ・ギア操作
に関するミスは対照群
と有意差なし

○ 実験群被験者の、MT大型車の試験合格率は約9割(15人中13人)で、
教習を経た者が通常期待される合格率と遜色のない結果でクラッチ・ギア
操作に起因した不合格もなし

まとめ(概要)

- 実験群と対照群を比較して、クラッチ・ギア操作に起因する減点項目数に有意差は見られず、実験群合格率も高かった
- 被験者アンケート結果等においても、MT操作を普通車で行うことに肯定的回答



MT普通免許等の保有者は、AT大型自動車を運転
できれば、MT大型自動車の運転が可能